



長田野で練習 (6月2日)

■2024年7月の予定表をお送りします。

7月～8月にかけては、三段池テニスコートはソフトテニスの大会一色になってまいります。関西や近畿レベルの大会も多いようで、土日はほぼ埋まっています。また、すでに6月で30度を超える気温になっており、屋外での運動は控えるように、教育委員会あたりは注意喚起しております。昨年ジュニアの大会で救急搬送があったからは、府の協会もピリピリしており、ノーアドルールはそのまま戻らないようです。FJTC としましても、小学生チームは、夏の間は無理しないように、少なめの練習で考えておりますので、ご了承願います。

■ナイター練習会へ参加者募集！

選手が中学生になって、ナイター練習の参加者が減っているため、もっと練習したいジュニアにみなさんには、ナイター練習会への参加をオススメしています。ほとんど初心者でもかまいません。とにかく将来的にも選手として硬式テニスを続けようと思っているジュニアは、遠慮なく参加してください。それなりにレベル別で練習できますのでご安心ください。



■熱中症や脱水に注意！！



練習には多めのドリンク（できればスポーツドリンク）タオルをお忘れなく！手洗いとうがいを励行し、睡眠と食事もしっかり取って、免疫力の低下に注意！

■全国大会について

テニスの豆知識 94

中体連の全国大会が複数のマイナー競技ではなくなるそうです。勝利至上主義のジュニア育成に問題を感じて、柔道が先駆けて、小学生の全国大会をなくしましたが、今回の件は、それよりもむしろ、学校現場の負担（働き方改革）の方が大きいかもしれません。中体連や高体連は、基本的に学校の先生（部活の顧問）が運営に当たります。各府県での大会運営は先生方の手によって行われます。申し込みから顧問会議、ドロー抽選や要項の印刷、実際の大会本部運営など…。そして、これらの業務はほとんど土日や時間外勤務となり、どう考えても「好きでない」とやられてられない。」仕事です。まして、インターハイなどがまわって来ると、その府県の顧問は大変な仕事量をこなすことになります。京都府高体連のテニス専門部の常任委員は、國田の昔の仲間が、今だに頑張っています。（なかなか成り手がない。）



中学総体 2023

そのような背景で、今回競技人数の少ない競技は、中体連の全国大会はやめよう、となったのですが、競技団体からは、賛否両論です。反対派は、「子供の目標でありモチベーションの元となる『全中』は必要だ。」というものですが、「全国大会」は、中体連でなくても開催できるので、今後は協会などが実施することになると思います。中学校の縛りがなくなる方が、良い面もあると思います。

■今後の公式戦

- ・ 7月14日～…中学総体（府下、府、近畿）
- ・ 8月1日～サマージュニア

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ（京都共栄学園内）

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>

代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail: info@kyoei.ed.jp